

株式会社 住友倉庫

平成30年3月期第2四半期 決算説明会

平成29年11月17日



目次

I. 平成30年3月期第2四半期決算の概要

平成30年3月期第2四半期のハイライト	1
I-1. 第2四半期決算の概要	2
I-2. セグメント別営業収益	3
I-3. セグメント別営業利益	4
I-4. 財政状態	5
I-5. キャッシュ・フローの状況	6

II. 平成30年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し	7
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	8
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	9

III. 中期経営計画(2017-2019年度)チャレンジ120~創業120年に向けて~

III-1. 中期経営計画「チャレンジ120」(2018年3月期~2020年3月期)	10
III-2. 事業戦略の進捗状況①(国内物流事業の基盤強化)	11
III-3. 事業戦略の進捗状況②(海外物流事業の拡充)	12
III-4. 資本政策の実施状況	13
III-5. 今後の取組み	14

補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高	15
2. トランクルーム期末保管残高	16
3. 港湾運送取扱量	17
4. 国際輸送取扱量	18
5. 賃貸ビル面積	19

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I. 平成30年3月期第2四半期決算の概要

■ 営業収益は前年同期比+8.2%、営業利益は+7.9%と増収増益

① 物流事業は増収、増益

- ・営業収益は、取扱量の拡大により国際輸送収入及び陸上運送ほか収入が大幅増収となり、物流事業全体でも7.7%の増収
- ・営業利益は、倉庫業務、国際輸送業務、陸上運送業務等が堅調で5.6%の増益

② 海運事業は増収も、営業損失を計上

- ・営業収益は、輸送量の拡大により15.5%の増収
- ・営業利益は、海上運賃の回復遅れと燃料油価格の上昇等により営業損失（△49百万円）

③ 不動産事業は増収（2.1%）、増益（14.7%）

- ・前年度に竣工、取得した施設が貢献

■ 株主還元強化

① 約4,400千株（31億円分）の自己株式を取得（平成29年9月）

② 約20,000千株の自己株式を消却（平成29年6月、9月）

③ 上記により発行済株式総数は、期初より約10%減少し176,373千株に

I - 1. 第2四半期決算の概要

連結	平成29年3月期 第2四半期		平成30年3月期 第2四半期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益（百万円）	79,727	100.0%	86,302	100.0%	6,575	8.2%
営業利益（百万円）	4,623	5.8%	4,987	5.8%	363	7.9%
経常利益（百万円）	5,847	7.3%	6,143	7.1%	295	5.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益（百万円）	3,840	4.8%	4,265	4.9%	424	11.1%
1株当たり四半期純利益（円）	21.49	-	23.96	-	2.47	-
1株当たり中間配当額（円）	7.0	-	8.0	-	1.0	-

営業収益	営業収益は、物流事業において国際輸送を中心に取扱貨物が増加したこと等から、前期比8.2%の増収
営業利益	営業利益は、増収により前期比7.9%の増益
経常利益	為替差益が減少したものの、利益増に加え受取配当金の増加等により、前期比5.1%の増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	利益増に加え、固定資産売却益の増加等により、前期比11.1%の増益

I - 2. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期第2四半期	平成30年3月期第2四半期	増 減	
1. 物流事業	63,735	68,624	4,888	7.7%
①倉庫収入	11,418	11,777	359	3.1%
②港湾運送収入	17,775	18,013	237	1.3%
③国際輸送収入	15,224	18,134	2,909	19.1%
④陸上運送ほか収入	19,317	20,699	1,381	7.2%
2. 海運事業	11,386	13,150	1,764	15.5%
⑤海運事業収入	11,386	13,150	1,764	15.5%
3. 不動産事業	5,049	5,152	103	2.1%
⑥不動産事業収入	5,049	5,152	103	2.1%
計	80,171	86,928	6,757	8.4%
セグメント間内部営業収益	△443	△625	△182	△41.0%
純営業収益	79,727	86,302	6,575	8.2%

①倉庫収入	文書等情報記録媒体を中心に、貨物保管残高が堅調に推移したこと等から増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌及び輸出入荷捌の取扱増加により増収
③国際輸送収入	国際一貫輸送の取扱いが増加したこと等から増収
④陸上運送ほか収入	eコマースに関連する輸送の取扱拡大に伴い増収
⑤海運事業収入	林産品やコンテナの輸送量が増加したこと等から増収
⑥不動産事業収入	前年度に竣工した商業施設等の賃料収入が寄与したこと等から増収

I - 3. セグメント別営業利益

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	4,785	5,050	265	5.6%
2. 海運事業	160	△49	△210	-
3. 不動産事業	2,183	2,503	319	14.7%
計	7,129	7,504	375	5.3%
調整額	△2,505	△2,516	△11	△0.5%
純営業利益	4,623	4,987	363	7.9%

1. 物流事業	倉庫業務、国際輸送業務、陸上運送業務等が堅調で、前期比5.6%の増益
2. 海運事業	海上運賃の回復が遅れていることに加え、燃料油価格の上昇等により49百万円の営業損失を計上
3. 不動産事業	前年度に稼働・取得した施設が貢献したことに加え、前年同期に不動産取得税を計上していたこと等から前期比14.7%の増益

I - 4. 財政状態

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期末	平成30年3月期 第2四半期末	増 減
総 資 産	305,751	310,172	4,421
負 債	126,915	124,357	△2,557
純 資 産	178,836	185,815	6,978
(自己資本)	(171,059)	(177,594)	(6,535)
自己資本比率	55.9%	57.3%	+ 1.3ポ ^o イト
1株当たり純資産	957.00円	1,018.29円	+ 61.29円

総 資 産	借入金の返済及び自己株式の取得等により、「現金及び預金」は減少したが、株式相場の上昇に伴い「投資有価証券」が増加したこと等により、前期末比で44億21百万円の増加
負 債	投資有価証券の評価差額に係る「繰延税金負債」は増加したものの、借入金の返済等により、前期末比で25億57百万円の減少
純 資 産	「利益剰余金」の積み上がり及び株式相場の上昇に伴う「その他有価証券評価差額金」が増加した一方、自己株式の取得等により、前期末比で69億78百万円の増加

I - 5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 第2四半期	平成30年3月期 第2四半期	増 減
営業活動によるC F	8,361	7,614	△747
投資活動によるC F	△10,105	△ 1,655	8,450
財務活動によるC F	△5,100	△ 11,147	△6,047
現金及び現金同等物の 四半期末残高	15,900	19,291	3,391

営業活動によるC F	税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により、76億14百万円の増加
投資活動によるC F	有形固定資産の取得による支出等により、16億55百万円の減少
財務活動によるC F	借入金の返済及び自己株式の取得等により、111億47百万円の減少

II. 平成30年3月期見通し

II - 1. 業績の通期見通し

連結	平成29年3月期 実績		平成30年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益（百万円）	165,256	100.0%	170,000	100.0%	4,743	2.9%
営業利益（百万円）	9,189	5.6%	10,600	6.2%	1,410	15.3%
経常利益（百万円）	11,327	6.9%	12,400	7.3%	1,072	9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	7,802	4.7%	8,200	4.8%	397	5.1%
1株当たり当期純利益（円）	43.66	-	45.88	-	2.22	-

配当	平成29年3月期 実績		平成30年3月期 見通し		増減	
1株当たり年間配当額（円）	15.50	-	16.00	-	0.50	-

営業収益	営業収益は、物流事業における国際輸送業務及び陸上運送業務等が、引き続き堅調に推移すると見込み、前期比2.9%の増収を予想。
営業利益	営業利益は、物流事業及び不動産事業については前年比増益、海運事業は黒字転換。全体では、前期比15.3%の増益を予想する。
経常利益・親会社株主に 帰属する当期純利益	経常利益は、前期比9.5%の増益を予想。 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比5.1%の増益を予想。

II - 2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

営業収益

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	131,055	133,400	2,344	1.8%
2. 海運事業	25,183	27,000	1,816	7.2%
3. 不動産事業	10,172	10,600	427	4.2%
計	166,411	171,000	4,588	2.8%
セグメント間内部営業収益	△1,155	△ 1,000	△155	△13.5%
純営業収益	165,256	170,000	4,743	2.9%

営業利益

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	9,772	10,300	527	5.4%
2. 海運事業	△347	100	447	-
3. 不動産事業	4,569	5,100	530	11.6%
計	13,993	15,500	1,506	10.8%
調整額	△4,804	△ 4,900	△95	△2.0%
純営業利益	9,189	10,600	1,410	15.3%

II - 3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

設備投資額

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	5,913	5,000	△913	△15.4%
2. 海運事業	510	500	△10	△2.1%
3. 不動産事業	5,141	5,400	258	5.0%
計	11,565	10,900	△665	△5.8%
4. 全社	354	800	445	125.9%
連 結	11,919	11,700	△219	△1.8%

減価償却費

(単位：百万円)

区 分	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	4,200	4,100	△100	△2.4%
2. 海運事業	518	500	△18	△3.6%
3. 不動産事業	2,506	2,300	△206	△8.2%
計	7,225	6,900	△325	△4.5%
4. 全社	511	500	△11	△2.2%
連 結	7,736	7,400	△336	△4.3%

中期経営計画(2017-2019年度)

III. チャレンジ120

~創業120年に向けて~

III - 1. 中期経営計画「チャレンジ120」(2018年3月期～2020年3月期)

基本コンセプト

- ① 財務の安定性を堅持しつつ、各事業における事業戦略に基づき、
更なる事業基盤の強化を図ることにより、持続的な成長を目指します。
- ② 資本政策等を通じ株主還元を一層強化することにより、
着実な成長戦略の遂行とあわせ、企業価値の向上に努めます。

▼ 主な事業戦略



- 国内物流事業の基盤強化
- 海外物流事業の拡充
- 不動産事業への積極投資
- 新しい事業分野への挑戦

持続的な成長に向けた事業投資額600億円

▼ 株主還元策

- 連結配当性向35%
- 年間配当金は利益水準にかかわらずミニマム15円
- 100億円を上限に自己株式の取得を実施
- 自己株式の消却

株主還元を一層強化し、企業価値向上へ

▼ 業績目標及び事業投資額等

	2017年3月期 (基準年度)	2020年3月期 (最終年度)
連結売上高	1,652億円	1,900億円
連結営業利益	91億円	120億円
事業投資額		累計600億円(物流関連350億円、不動産ほか250億円)
配当性向	単体40%	連結35%(利益水準にかかわらず1株当たり15円の年間配当を実施)



III - 2. 事業戦略の進捗状況①（国内物流事業の基盤強化）

株式会社若洲を買収

2017年7月31日に株式100%取得

- ・東京都臨海部の物流施設の強化
- ・同社の強味である流通加工等の法人向け業務支援サービスとの協業によるシナジー創出
- ・グループとしての提案力の強化

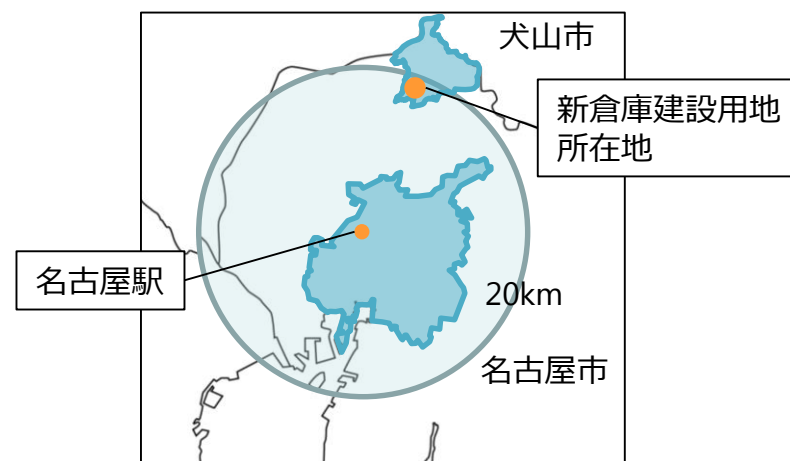


(1) 会社名(商号)	株式会社若洲
(2) 所在地	東京都江東区若洲二丁目3番7号
(3) 事業内容	倉庫業
(4) 設立年月	1950年3月
(5) 資本金	80百万円
(6) 倉庫延床面積	約27,000㎡（約8,000坪）

中京地区・犬山新倉庫（仮）建設

2017年9月に愛知県犬山市において倉庫施設の建設用地（約11,500㎡）を取得

- ・中京地区におけるアーカイブズ拠点を強化
- ・業界最高水準の設備を備えた専用倉庫を計画



(1) 名称	犬山新倉庫（仮）
(2) 所在地	愛知県犬山市北平塚
(3) 構造	鉄筋コンクリート造4階建、免震構造
(4) 倉庫延床面積	8,100㎡（約2,450坪）（予定）
(5) 竣工時期	2020年1月（予定）

III - 3. 事業戦略の進捗状況② (海外物流事業の拡充)

タイ・アユタヤ4期倉庫建設

タイ国内の旺盛な物流需要を背景に、
配送拠点としての立地に優れるアユタヤに
4期倉庫を建設

(完成予想図)



- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 所在地 | タイ国アユタヤ県(ロジャナ工業団地内) |
| (2) 構造 | 鉄筋コンクリート造平屋建 1棟 |
| (3) 倉庫延床面積 | 3,236㎡ (約979坪) |
| (4) 竣工時期 | 2018年5月 (予定) |

シンガポール倉庫増設

主力の石油化学製品のほか、温度管理等が
求められる医療機器・食品等の保管ニーズを
背景に倉庫施設を拡充

(完成予想図)



- | | |
|------------|-------------------|
| (1) 所在地 | シンガポール |
| (2) 構造 | 鉄筋コンクリート造5階建、1棟 |
| (3) 倉庫延床面積 | 11,006㎡ (約3,329坪) |
| (4) 竣工時期 | 2018年12月 (予定) |

アメリカ・ニューヨーク支店開設

2014年開設のシカゴ支店につぐ、
米国内4拠点目となるニューヨーク支店を開設

- ・NY・NJ地区に集積する日系荷主の北米本社への営業強化
- ・NY支店単独での事業拡大に加え、既存各拠点 (LA本社、アトランタ支店、シカゴ支店) の営業に対する支援

- | | |
|----------|-----------------------|
| (1) 名称 | 米国住友倉庫会社 ニューヨーク支店 |
| (2) 所在地 | ニューヨーク州ホワイトプレインズ |
| (3) 業務内容 | 荷捌業務、通関業務、倉庫業務、陸上運送業務 |
| (4) 営業開始 | 2018年1月 (予定) |

III - 4. 資本政策の実施状況

自己株式の取得及び消却

- ・中期経営計画発表後、
約4,400千株(31億円分)の自己株式の取得
- ・2017年3月末比で
約10%(約20,000千株)の株式消却を実施

(参考)関連指標等

	2017年3月末	2017年9月末
発行済株式総数(株)	195,936,231	176,373,231
1株あたり純資産(円)	957.00	1,018.29
1株あたり純利益(年間・円)	43.66	45.88 (通期予想)

(連結ベース)

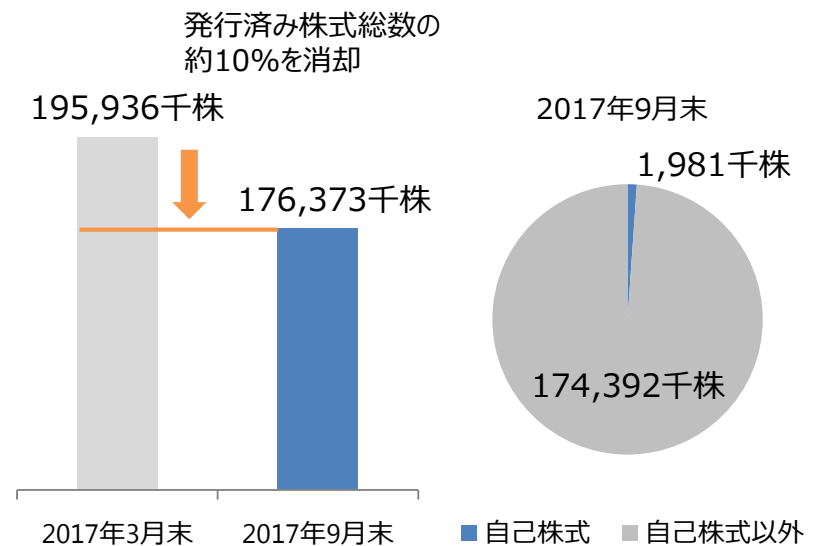
自己株式の取得及び消却の基本方針

▼ 自己株式の機動的な取得

3年間で1,000万株程度(100億円上限)の自己株式の取得を実施

▼ 自己株式の消却

- ・新たに取得する自己株式は、原則として毎期末までに消却
- ・既に保有する自己株式はストックオプション等具体的な用途が明確な数量(約2,000千株)を除き、速やかに消却



発行済株式総数の推移

発行済株式総数の内訳

III - 5. 今後の取組み

事業への取組み

国内

- ・内陸部及び港頭地区における新倉庫建設計画の推進
- ・AI、IoT、ロボティクス等の先進的技術の導入

海外

- ・タイ レムチャバン地区に2期倉庫建設
- ・フィリピンに駐在員を派遣

環境経営への取組み

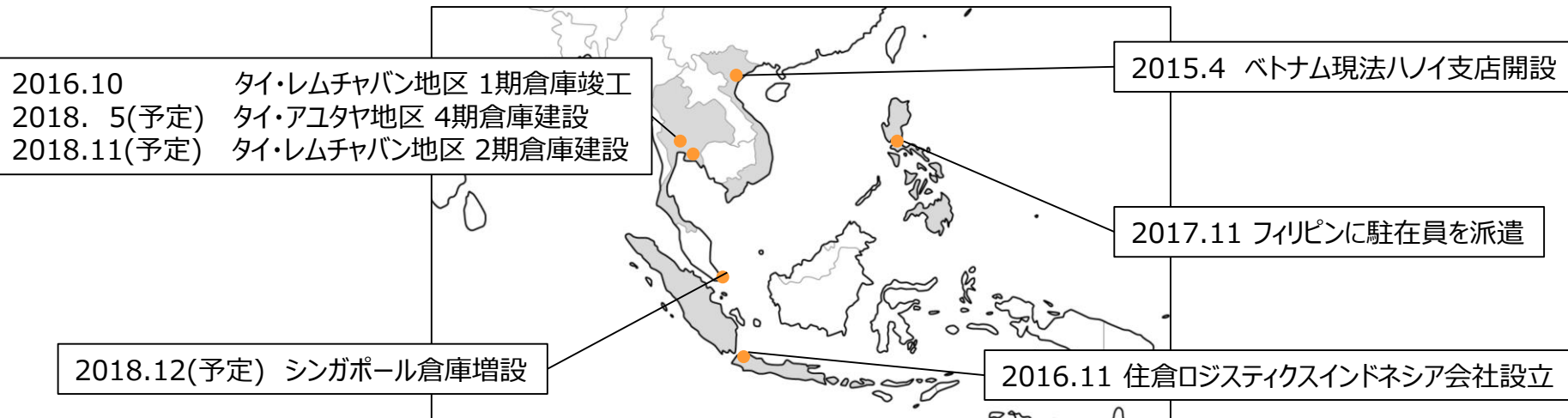
2017年7月

自社倉庫施設照明LED化方針を策定

自社倉庫施設全棟の照明を原則LED照明に切り替える方針を策定

これにより年間約9万kwhの電力削減

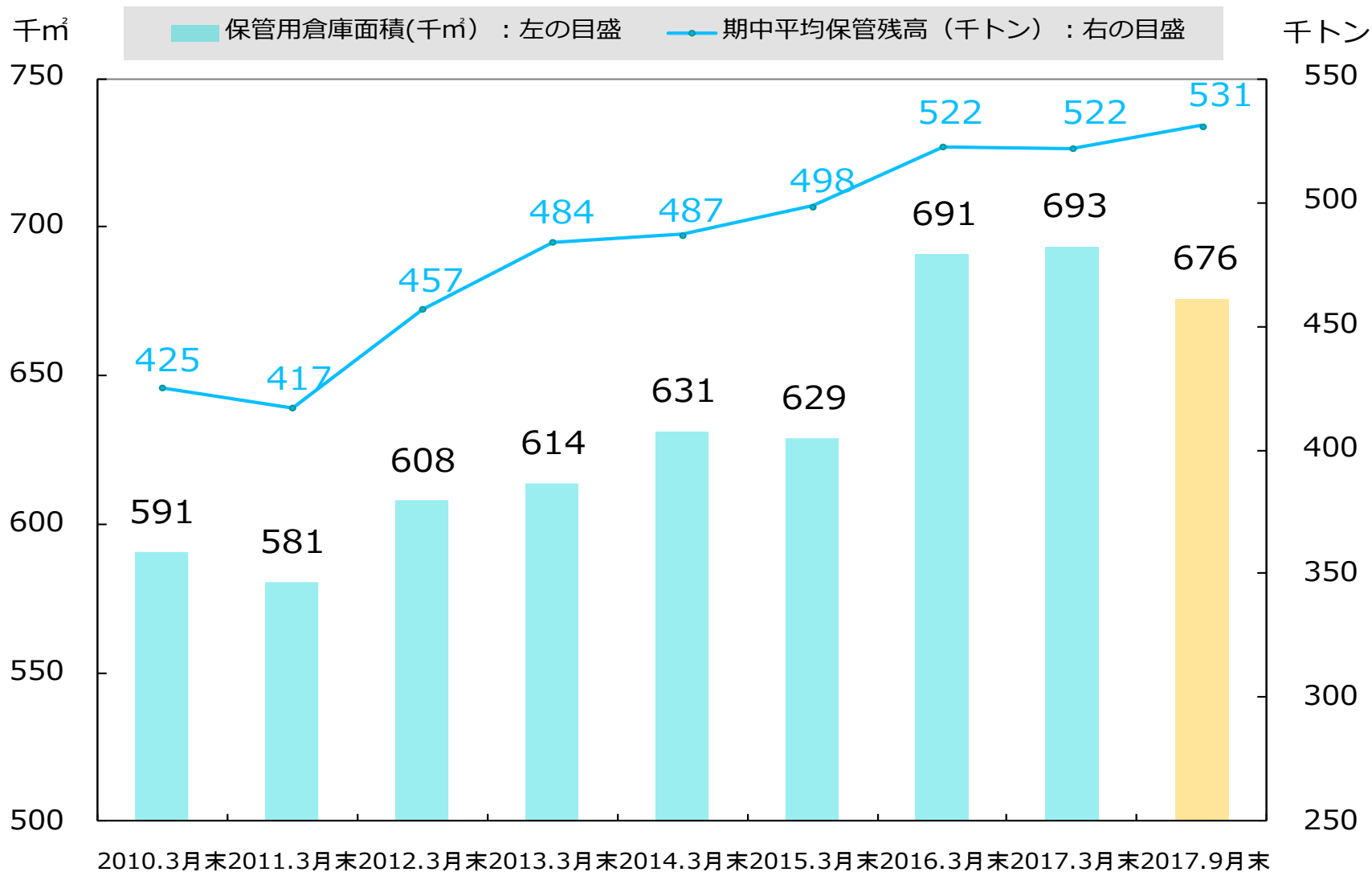
(参考)約5000トンのCO2を削減
※換算係数0.587kg-CO2/kWh



補足資料

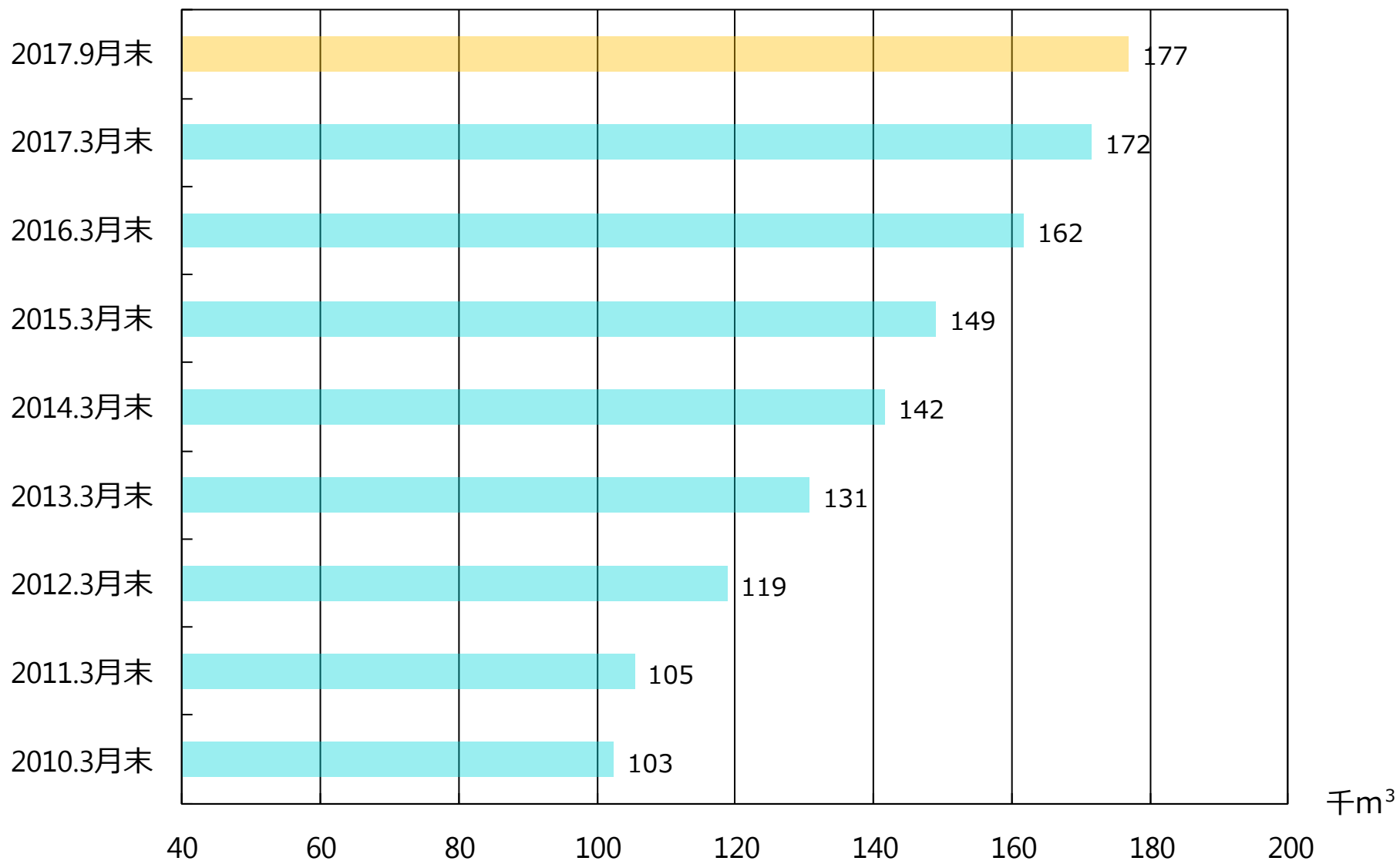


1. 保管用倉庫面積・保管残高

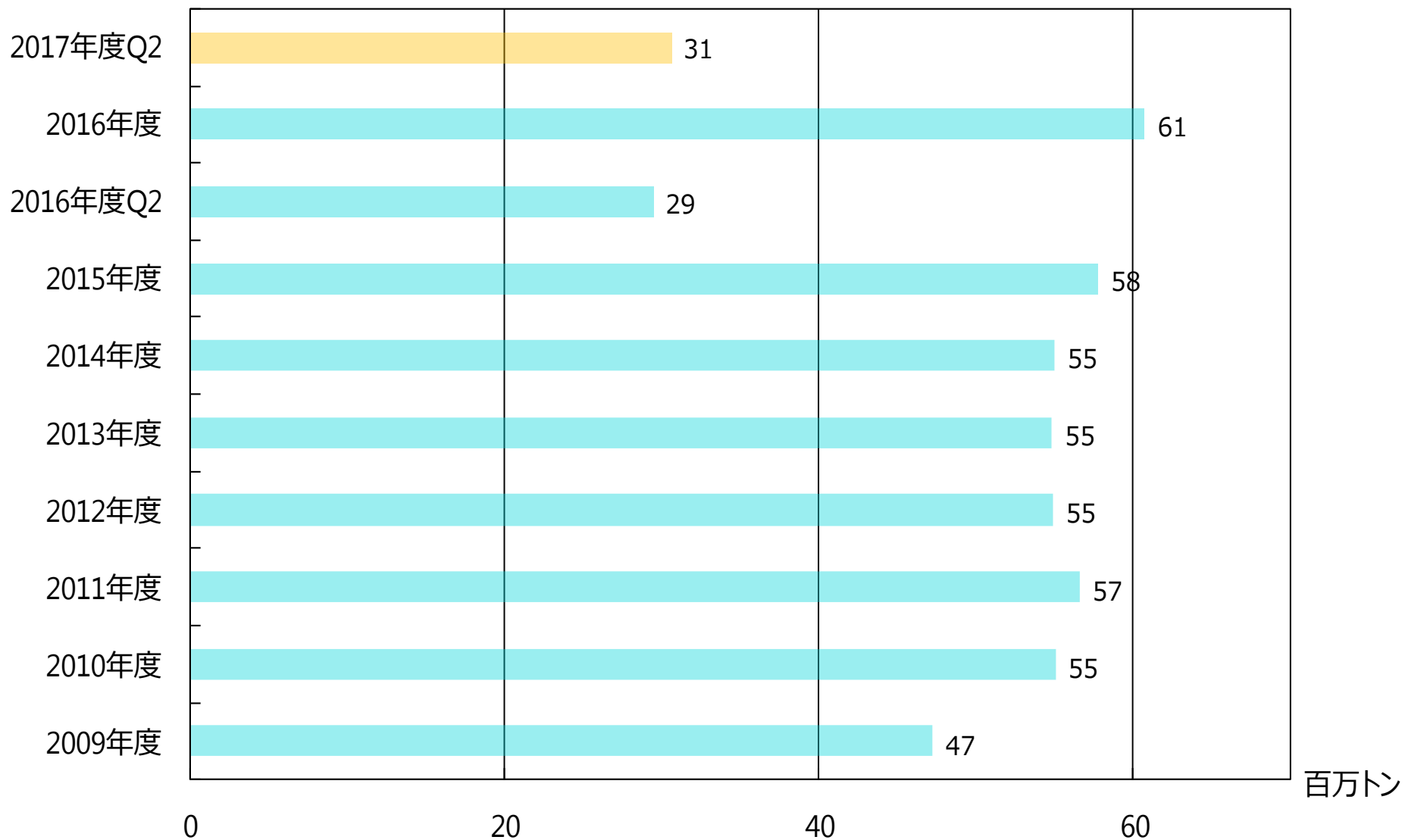


※保管用倉庫面積：所有庫+借庫-貸庫

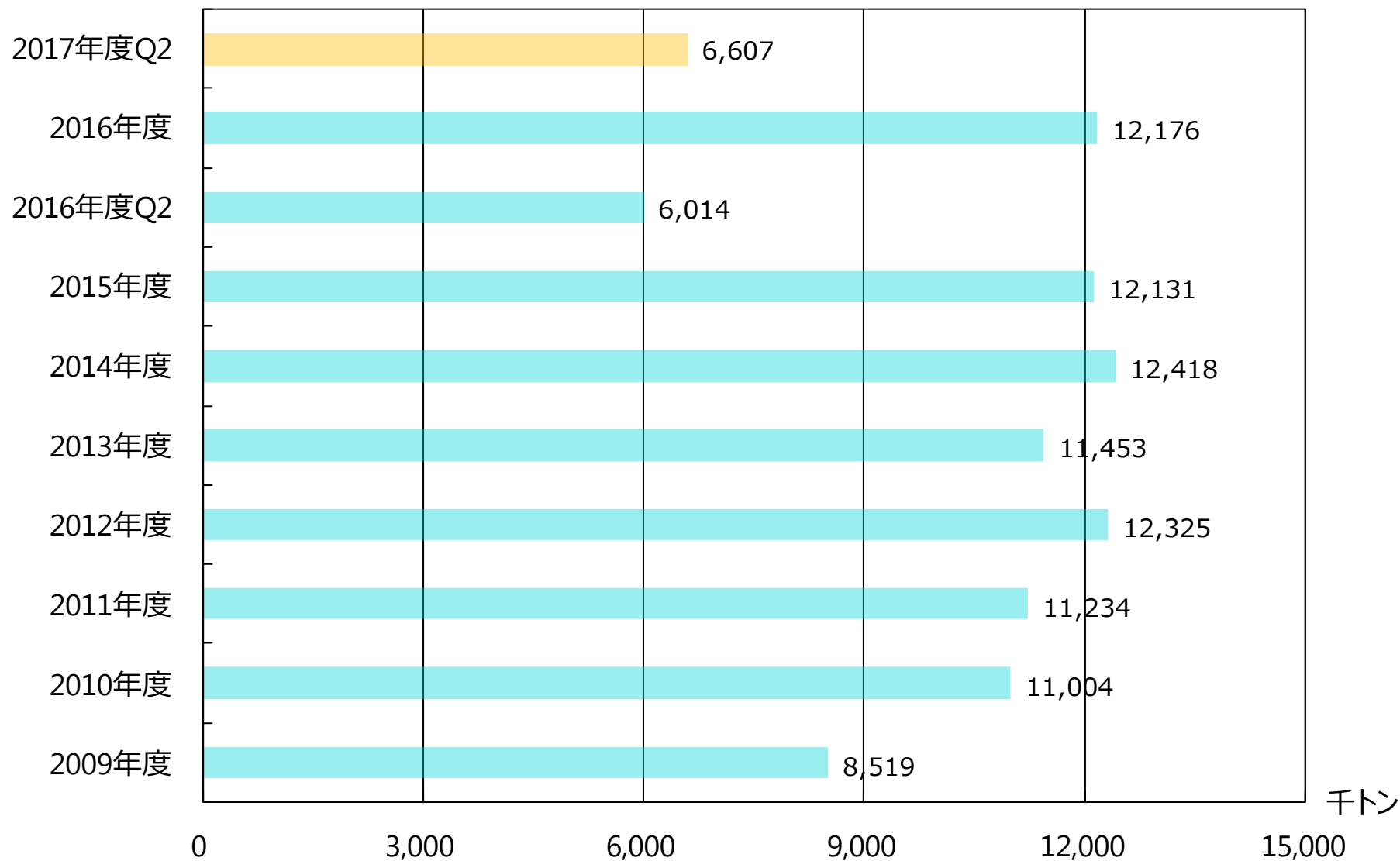
2. トランクルーム期末保管残高



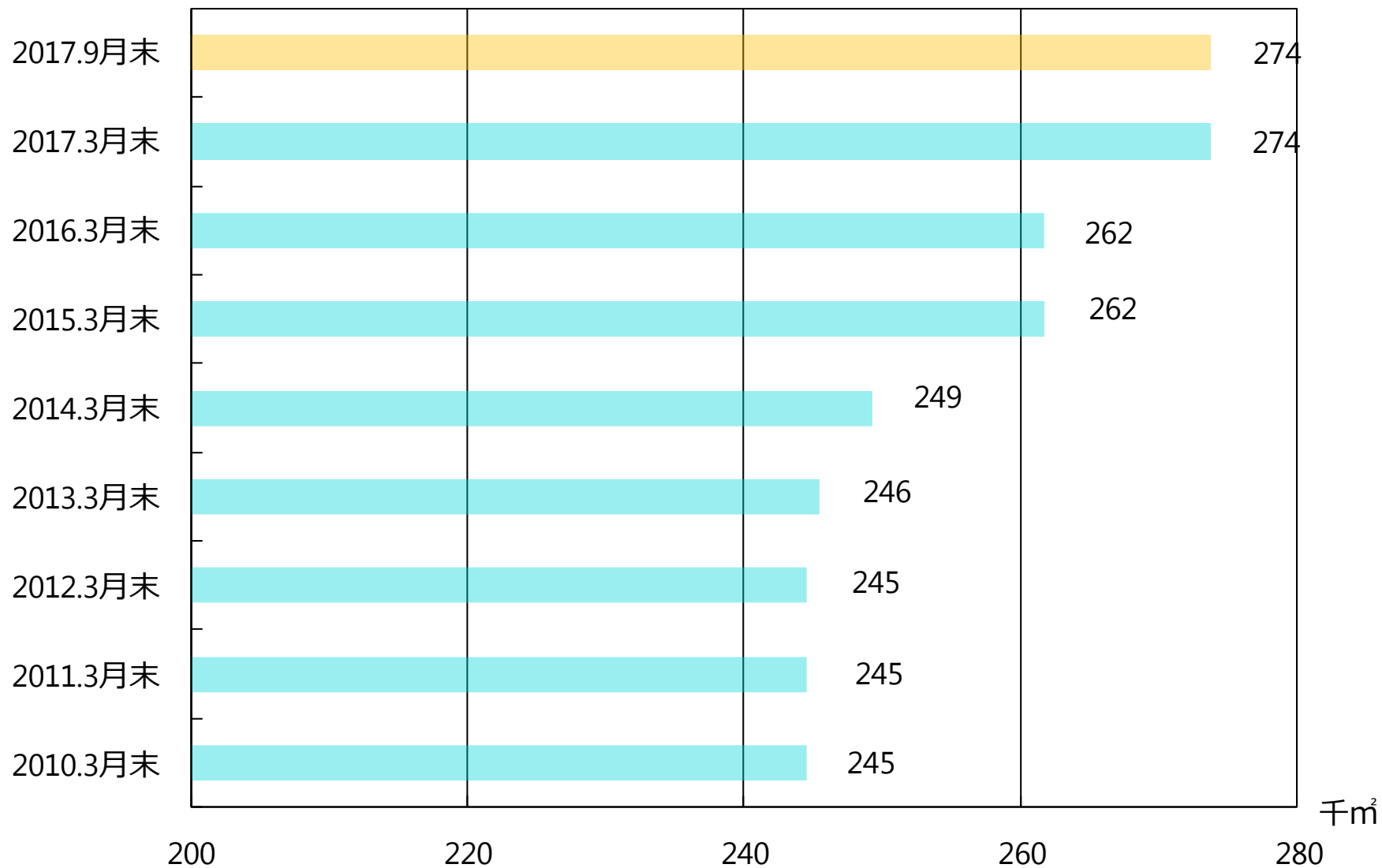
3. 港湾運送取扱量



4. 国際輸送取扱量



5. 賃貸ビル面積



本日はありがとうございました。



Best Synergy & Best Solution



< IRに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18
TEL : 06-6444-1189 FAX : 06-6444-1282
MAIL : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp
HP : <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>